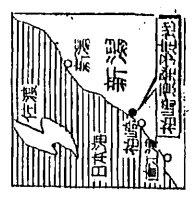


# 「柏崎原発」のらっしん

## 地盤不安で一転計画難航



◆「らっしん」が心配  
 柏崎原発(福島)を中心とする東北地方、特に福島県に建設されるべき原子力発電所が、地盤不安のため計画が難航している。建設予定地は、地盤が軟弱で、地震発生時の被害が甚大である。建設費も、地盤改良に多額の出費が必要と見込まれている。また、周辺住民の不安も、計画の進捗を遅らせている。政府は、地盤改良技術の開発や、建設費の削減を図ることで、計画を前進させようとしている。

建設予定地(福島)を中心とする東北地方、特に福島県に建設されるべき原子力発電所が、地盤不安のため計画が難航している。建設予定地は、地盤が軟弱で、地震発生時の被害が甚大である。建設費も、地盤改良に多額の出費が必要と見込まれている。また、周辺住民の不安も、計画の進捗を遅らせている。政府は、地盤改良技術の開発や、建設費の削減を図ることで、計画を前進させようとしている。

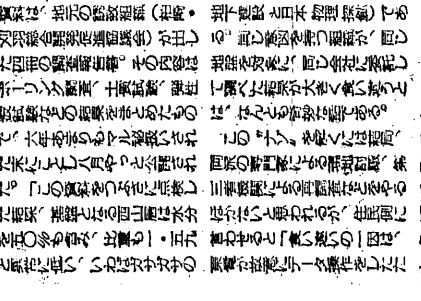
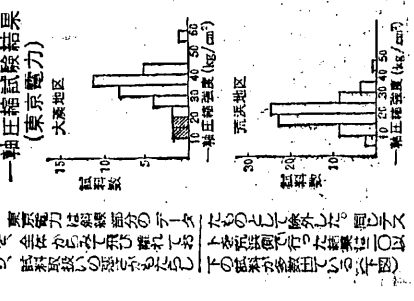
建設予定地(福島)を中心とする東北地方、特に福島県に建設されるべき原子力発電所が、地盤不安のため計画が難航している。建設予定地は、地盤が軟弱で、地震発生時の被害が甚大である。建設費も、地盤改良に多額の出費が必要と見込まれている。また、周辺住民の不安も、計画の進捗を遅らせている。政府は、地盤改良技術の開発や、建設費の削減を図ることで、計画を前進させようとしている。

# 地盤は硬いか軟いか

### 論争続く柏崎、刈羽原発

「地盤が硬いから大丈夫」と主張する一方、「軟弱な地盤だから危険」と主張する。柏崎、刈羽原発の建設予定地は、地盤の硬軟が議論の的となっている。地盤調査の結果、一部の地域は硬い地盤である一方、他の地域は軟弱な地盤であることが判明している。建設業者は、硬い地盤の地域に建設を進めようとしているが、住民側からは、軟弱な地盤の地域に建設を中止するよう求められている。

建設予定地(福島)を中心とする東北地方、特に福島県に建設されるべき原子力発電所が、地盤不安のため計画が難航している。建設予定地は、地盤が軟弱で、地震発生時の被害が甚大である。建設費も、地盤改良に多額の出費が必要と見込まれている。また、周辺住民の不安も、計画の進捗を遅らせている。政府は、地盤改良技術の開発や、建設費の削減を図ることで、計画を前進させようとしている。



# 平行線の東電と住民

## 安全確保へ現地調査を

東電は、地盤調査の結果、一部の地域は硬い地盤である一方、他の地域は軟弱な地盤であることが判明している。建設業者は、硬い地盤の地域に建設を進めようとしているが、住民側からは、軟弱な地盤の地域に建設を中止するよう求められている。

建設予定地(福島)を中心とする東北地方、特に福島県に建設されるべき原子力発電所が、地盤不安のため計画が難航している。建設予定地は、地盤が軟弱で、地震発生時の被害が甚大である。建設費も、地盤改良に多額の出費が必要と見込まれている。また、周辺住民の不安も、計画の進捗を遅らせている。政府は、地盤改良技術の開発や、建設費の削減を図ることで、計画を前進させようとしている。

建設予定地(福島)を中心とする東北地方、特に福島県に建設されるべき原子力発電所が、地盤不安のため計画が難航している。建設予定地は、地盤が軟弱で、地震発生時の被害が甚大である。建設費も、地盤改良に多額の出費が必要と見込まれている。また、周辺住民の不安も、計画の進捗を遅らせている。政府は、地盤改良技術の開発や、建設費の削減を図ることで、計画を前進させようとしている。

この問題は、東電と住民の間で平行線を描き続けている。東電は、安全確保のために現地調査を進めているが、住民側からは、地盤改良の費用を削減するよう求められている。また、住民側からは、建設予定地の選定に疑問を抱いている。政府は、この問題を解決するために、東電と住民の対話を促進しようとしている。しかし、地盤改良の技術的課題や、建設費の問題が、計画の進捗を遅らせている。住民側からは、建設を中止するよう求められている。政府は、地盤改良技術の開発や、建設費の削減を図ることで、計画を前進させようとしている。